

南っ子だより 1号

飽田南小学校だより

令和7年4月21日(月)

文責:松永 和宏(校長)

令和7年度のスタートです

皆様、はじめまして。この春、飽田南小学校第46代校長として赴任しました、松永 和宏(まつなが かずひろ)と申します。よろしくお願いいたします。

校長として初めて子どもたちの前に立った始業式で、私は最近レストラン等で急に見かけるようになった『配膳ロボット』を題材に、学校教育目標にある「人を大切に」という言葉を今年も大切にしていきたいと話しました。

そして、この2週間、「人を大切に」している姿を学校でたくさん見かけて、心が熱くなりました。

○すてきなあいさつができている南っ子。でもそれだけでは終わらない。私がプレハブの児童入口の落ち葉を片付けていたら、ちょうど業間休みで教室から出てきた子どもたち。「校長先生、おはようございます」ここで終わるかと思ったら「校長先生、(入口を)きれいにしてくれてありがとうございます」とのプラスの一言。様子を見て、考えて、伝えられる、これまでの南小の教育の『すごさ』の一端を見せられ、感動しました。

○朝、交通指導で立っていると、子どもたちはもちろん、送ってこられる保護者の方も「おはようございます」と気持ちのよいあいさつをしてくれます。さらに「お世話になります」と感謝の言葉をかけていただきました。おかげで毎朝の交通指導が楽しみです。

○育成クラブに市役所から担当があいさつに来たので、私も一緒に育成の2階で話をしました。昼休みが終わり、掃除が始まるチャイムを聞いた職員が外を見て、「うわ、あっという間に教室に戻った、ここ(南小)はすごい、切り替えがよくできている!」とほめられました。時間を守ることは、人を大切にすることに直結します。

これらの素晴らしさを大切に、さらに南っ子がそれぞれ成長していく、そのために私も力を尽くしていきますので、よろしくお願いいたします。

令和7年度は、全児童数284人(その内、新入生は57人)でのスタートです。

(4月11日現在)

校歌は「♪ひがし ひをふく?」それとも「ひをはく?」

校長室には、本校校歌の書かれた立派な掛け軸があります。また、おそらく初稿である楽譜が額に入れられています。ある先生から「校長先生、校歌には「火を噴く」と「火を吐く」両方の表記があるんですよ。」と教えてもらいました。掛け軸は「吐く」楽譜は「噴く」となっています。調べてみると、「♪ひをふく」と歌っていた時期と「♪ひをはく」と歌っていた時期があるようです。

校長室にある資料をいろいろと調べた結果、校歌が制定された年(昭和45年)には「ひをふく」と歌っていたということで間違いないと結論付け、ここ数年は「♪ひをはく」と歌っていたとのことですが、今年から「♪ひをふく」で統一します。

(因みに昭和45年に飽田南小だった児童は、現在62~67歳とされていると思います。何か校歌についてご存じの方がいましたら、校長まで教えていただくとありがたいです)

